

2023年1月6日

第25回 全日本障害者クロスカントリースキー競技大会 および  
クロスカントリースキーフェスタ in 旭川

チームキャプテンミーティング (TCM)

1 ジュリーメンバー選出 (チーム代表) とジュリーメンバー紹介

競技委員長 山家 祥幸

技術代表 金谷 浩克

チーム代表 長濱 一年

2 競技実施関連事項

(1) 会場・コース説明

(2) スタートリストの確認

(3) タイムスケジュール

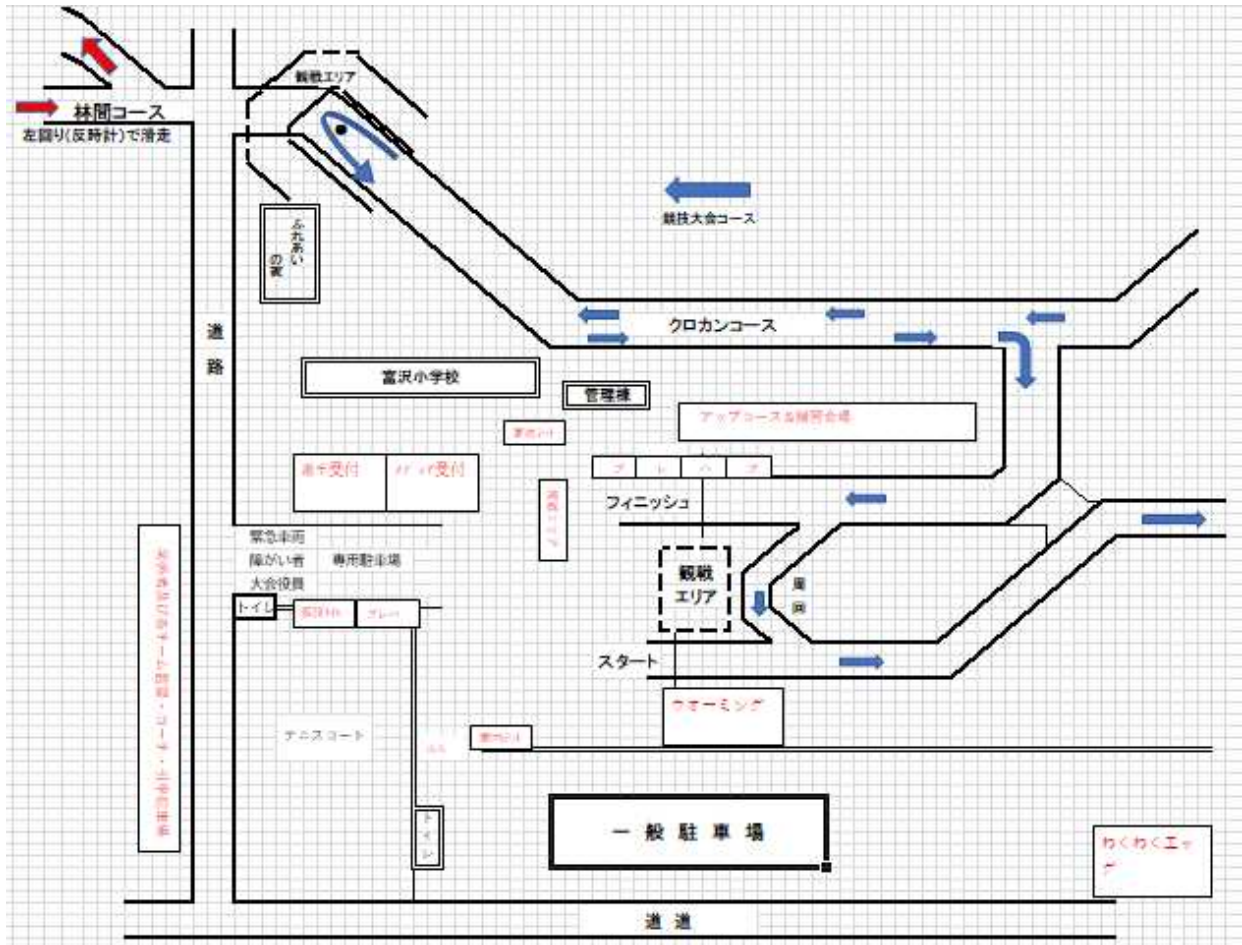
(4) 注意事項他

3 質疑応答 (公式トレーニングの時に受付で対応)

注)・積雪状況により、競技ルール等を変更する場合がありますのでご了承ください。

・新型コロナウイルス感染症感染対策を主催者で万全を期していますが、参加者におかれましても、体調管理を含めて感染予防対策を十分に講じてください。

# 【1 会場・コース説明】



【クロスカントリースキーフェスタ 1.0 kmコース 8日】



【全日本障害者クロスカントリースキー競技大会

シット・立位・知的 1.6 kmコース 7日】

※赤線部分を走行



【全日本障害者クロスカントリースキー競技大会・シット 2.5 kmコース 8日】



## 【2 スタートリストの確認】

別添資料の通り

## 【3 タイムスケジュール】

1/6 (金)	11:30	宿舎→競技会場行 送迎バス出発
	12:30	公式練習開始
	14:00	公式練習終了
	14:30	競技会場→宿舎行 送迎バス出発
1/7 (土)	8:30	宿舎→競技会場行 送迎バス出発
	9:00	受付開始・コースオープン
	11:00	コースクローズ
	11:30	競技開始 クラシカルタイムレース
	13:30	公式練習開始 (フェスタ参加者と交流)
	14:30	公式練習終了
15:00	競技会場→宿舎行 送迎バス出発	
1/8 (日)	8:00	宿舎→競技会場行 送迎バス出発
	8:30	受付開始・コースオープン
	(9:30)	(クロスカントリースキーフェスタ in 旭川 開始)
	11:00	競技開始 フリータイムレース
	12:50	表彰式
13:30	競技会場→宿舎行 送迎バス出発	

※スケジュールは変更になる可能性もありますので、公式掲示板、場内アナウンスでご確認ください。

※送迎バス所要時間は約30分です。

## 【4 注意事項】

### 1. ビブス

- (1) 選手（ガイド含む）、関係者がコース内に立ち入る際はビブスを着用に加え、スキーを履くこと。
- (2) 選手のウォーミングアップ中はビブスを裏返して着用すること。
- (3) フェスタ参加者は、7日の講習会で使ったビブスを8日も使用する。タイムトライアル終了後、回収する。
- (4) コーチ、チームスタッフがコース内に立入る際は、ビブスを着用すること。
- (5) 関係者のビブスは競技本部へ返却すること。

### 2. コースオープン

- (1) 7日は9:00～11:00、8日は8:30～9:20までコースオープン。
- (2) コースクローズまでに選手、関係者はコース外に出ること。
- (3) 関係者は競技終了までコース内に立ち入らないこと。
- (4) コースオープン中のワックステストは許可するが、計測器の使用は禁止する。
- (5) コースの逆走は禁止する。

### 3. コース

- (1) フィニッシュライン手前約80mの赤旗から2トラックス（両サイド）3コリドー。
- (2) コースの一部（急カーブ等）では、安全確保のためカッターを入れない箇所あり。

### 4. スタート

- (1) 両日とも30秒間隔のシングルスタートとする。
- (2) 視覚障害の選手には競技役員が肩に手を置き、離れた時点がスタート。

### 5. フィニッシュ

- (1) ガイドは選手の前もしくは後ろでフィニッシュすること。

### 6. 棄権

- (1) レース開始前の棄権は競技本部（セクレタリー）まで申し出ること。
- (2) レース中の棄権は近くの競技役員に申し出ること。

### 7. 追い抜き

- (1) 追い抜く選手、および追い越される選手は妨害にならないよう注意すること。
- (2) 知的障がい（ID）の選手は、バーンフライでコースを譲ることができなく

ても違反とはならないが、妨害してはならない。

- (3) 座位（シットスキー）の追い抜きは、追い抜きをかける選手がレーンを外れ追い抜くこと。

## 8. 介助

- (1) 知的障がい（ID）選手はコースを間違えた場合、選手に対して指示してもよい。ただし、事前にコースを指示することは認めない。
- (2) 選手から周回数の質問を受けても、競技役員は対応しない。
- (3) 視覚障がい選手のガイドは、選手と同様の対応とする。
- (4) 全日本において視覚障がい選手のみガイドが認められる。
- (5) フェスタにおいては申込時に申請があった場合のみ認める。

## 9. 抗議

- (1) 抗議は、非公式記録の掲示時刻から 15 分以内に抗議書、供託金 5,000 円をセクレタリーへ書類で提出すること。供託金は抗議が認められた場合には返還する。

## 10. 適用規則

- (1) 競技に関しては、FIS ルールブック（Para Nordic International Competition Rules (ICR)）及びSAJ 競技規則に準じ、必要に応じてジュリーメンバーで協議する。
- (2) 選手の公平性を期するため、障害の程度に応じた障害クラスのパーセンテージをもって計算タイムで競う《座位、立位（身体、視覚）》。（FIS Para Nordic International Competition Rules (ICR)）
- (3) 障害クラスは、IPC Classification 認定選手以外は、ジュリーメンバー協議のうえ付与する。